

名 称	令和 6 年度 第 1 回 男女共同参画審議会
日 時	令和 6 年11月 7 日(木) 13 時 57 分～14 時 45 分
場 所	鹿沼市役所 2 階 第 2 委員会室
出 席 者	委員：小森基伊会長、船木優子、大貫ヤイ、小高トシ子、大貫恵子、石川佳男、 荒井訓子、柴田友子、橋本勝浩、阿部秀実（11 名） 【欠席】徳田正雄副会長、武藤義夫、福田一夫、設楽光江（4 名） 事務局：福田市民部長、小堀人権・男女共同参画課長、男女共同参画係 金子、福井
内容及び 結果等	1. 開会 小堀課長（進行 小堀課長） 2. 会長あいさつ 小森委員 3. 自己紹介 4. 議事（議長 小森会長） (1)「かぬま男女共同参画プラン 2022」令和 5 年度実績について...資料 1金子説明 阿部委員：人生 100 年時代、「高齢者の安心した暮らし」は男女共同参画に必要である。いよいよ来年は 2025 年問題の年であり、団塊の世代が後期高齢者となる。この計画も折り返しとなり令和 9 年度からは新たな計画となるが、認知症対策や高齢者の健康づくりについて今後さらに充実させる必要があると思うが考えを聞かせてほしい。 金子：高齢福祉に関しては、高齢福祉課が事業担当課となっており、高齢福祉課と介護保険課で「鹿沼市いきいき長寿計画」を策定して各種事業を推進している。資料 1 の 10 ページに掲載のとおり、生きがいくりの支援として、高齢者が閉じこもらずに社会に積極的に参加していただけるような事業を推進してところである。 橋本委員：資料 1 の 5 ページNo.32「家族経営協定」の推進について、令和 5 年度実績は 209 組であり、令和 8 年度末目標値の 207 組を達成している。今後は新規締結を目指す予定はないのか。 金子：目標値については令和 2 年度の策定時に見込んだ数値であるが、事業推進の結果、令和 5 年度に累計 209 組と目標値を達成した。これ以外にも目標値を達成している指標がいくつかある。事業の参加者数や実施率など年度ごとに把握している数値については、翌年度も目標値を達成するよう継続して事業推進することを考えている。また、累計件数が目標値となっているものについては、県の例を参考に目標値の上方修正について今後担当課と検討していきたい。 橋本委員：資料 1 の 6 ページNo.37 の目標値の指標「ワーク・ライフ・バランスの実際の優先度」のアンケートの対象者について、性別や年齢、個人あるいは企業も含めてなどどのような方を対象としているのか参考として伺いたい。

	金子：プラン策定前年の令和 2 年度に市民に対し意識調査を行った。調査対象を 18 歳以上の男女 2,000 人として無作為抽出し、調査票を郵送する方法で行い、有効回収数 756 件、有効回収率が 37.8%であった。その中の設問として、「ワーク・ライフ・バランスの優先度」を調査したところ 30.6%であったため、令和 8 年度末の目標値を 40%ととした。意識調査は 5 年に 1 度のため、令和 5 年度実績欄には調査時の数値を継続して記載している。次は令和 7 年度に実施する予定である。
	橋本委員：資料 1 の 4 ページNo.21「企業・団体等への啓発・情報の提供」について、令和 5 年度実施なしであるが、以前は実施していたのか。また、自己評価は見直しの余地ありとのことであるが説明をお願いする。企業や団体に対しての啓発は社会の中で一番大切な部分であり、何かの形で進めるべきである。
	金子：令和 4 年度以前についても、女性の登用に関しての効果的な情報提供は実施できていない。男女がともに働きやすい社会づくりに重点をおいて、令和 5 年度は「イクボス」の普及を市内事業所に図ったところである。関連して、女性活躍の推進としてNo.33「事業所における一般事業主行動計画策定支援」がある。この計画は、従業員における女性の雇用割合や管理職の割合などを行動計画として策定し、取り組みを進めるものである。同計画の策定義務がある事業所は、従業員 101 人以上の事業所であり、市内 28 事業所はすべて策定済みである。鹿沼市は 100 以下の小さな事業所が大半を占めるが、策定をしているのは 17 事業所のみであり、多くの事業所が進んでいない状況であるため、今後策定支援の情報提供をしていきたい。具体的には、県で実施しているセミナーや社会保険労務士派遣事業などの情報提供を中心に行っていきたい。
	荒井委員：近年「産後ケア」の充実について話題に上がることが多いが、利用料が 1 回 5,000、10,000 円と高額であり、東京都などでは補助があるから利用できるという声も多いようだ。産後ケアには育児支援以外に家事代行などもあり、無理して体調をくずしてしまうお母さんも多いなか、ちょっと一息できるような支援は必要である。また、産後ケア事業実施のために資格をとったが、採算がとれそうになく二の足を踏んでいるという方の声もある。産後ケアを浸透させるためにも、また、少子化対策や女性の社会復帰支援につながるものであるため、産後ケアへの助成を要望したい。
	小堀：要望として担当課に伝える。
	石川委員：資料 2 の 17 ページの数値目標について、例えば、ふれあいスポーツ大会参加者数（Ⅲ2(2)）や日本語教室参加者数（Ⅲ4(3)）などは目標値と令和 5 年度実績に開きがある。新型コロナウイルス感染症も随分落ち着いてきたので目標値に近づけるための方策や努力など考えていることがあったら教えていただきたい。

	小堀：コロナ禍での策定であったが、従来どおりの参加者数を目標値としたケースが多かったと思われる。コロナが明けてもなかなか従前の数値に追いつかない状況であるが、今まで来てくれた方に来てもらえるよう努力や工夫が今後必要になってくると思うので、各担当課に伝えていく。 小森会長：船木委員からアドバイスがあればお願いしたい。 船木委員：県としても様々な分野の事業を行っていが、なかなか進まない部分も正直ある。やはり皆さんから意見があったように普及が大変重要である。ジェンダーギャップ指数では政治と経済の分野がかなり低いが、経済については、県内企業と一緒に連携しながら取り組みを進めているところである。また、県からいろいろな情報を流すことを進めている。今後も市町の皆さんと連携しながら取り組んで行くので協力をお願いしたい。 (2)その他　なし 5．その他（事務局より周知事項説明） ・11月12日～25日「女性に対する暴力をなくす運動」について ・「ときめき鹿沼 2024」人権・男女共同参画に関する講演会の開催について 6．閉会　小堀課長		
配付資料	事前配付 ・資料1・資料2「かぬま男女共同参画プラン 2022」令和 5 年度実績 ・「かぬま男女共同参画プラン 2022」冊子 ・「かぬま男女共同参画プラン 2022」概要版 当日配付 ・次第・名簿		
次回予定	令和 7 年度		
記 録 者	金子		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第 2 条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)			
公開・非公開の別	公 開	・ 非公開	(公開の場合) 傍聴人数
			0 人